

環境・エネルギー関連分野における事業化案件について

県では、今後の成長が期待される医療、環境・エネルギー、バイオ関連分野において、産学公連携による研究開発・事業化の促進に取り組んでいます。

このたび、環境・エネルギー関連分野において、株式会社テクノウェル（柳井市）が、県の補助金を活用し、下記のとおり、「大型車両用水素ステーション向け配管溶接技術」を開発・事業化しましたのでお知らせします。

記

1 大型車両用水素ステーション向け配管溶接技術

■開発・事業化の概要

○今後増加が見込まれる大型車両等に対応する大規模な水素ステーションでは、これまでより大口径の HRX19（※）配管が使用される可能性がある。

※HRX19：日本製鉄株が開発した、高圧水素環境下で使用できる溶接可能な高強度ステンレス鋼

○口径が大きく、強度確保のため厚肉な HRX19 配管の溶接は、従来の方法では困難であった。

○この度、溶接電流値、溶接速度、溶接棒の挿入速度、シールドガスの窒素混合比等を検討することにより、最適な溶接技術を開発した。

○開発した技術により、水素用配管の技術基準（外観、引張強度等）を満足する配管の安定的な製造が可能となった。

■特徴等

○大規模な水素ステーションに対応する HRX19 配管

○水素用配管の技術基準（外観、引張強度等）を満足

○高圧ガス保安協会による認証を取得



開発した技術による配管の溶接例

2 開発企業名：株式会社テクノウェル（<http://www.technowell.co.jp/>）

【代表者】伊ヶ崎 哲成（いかざき のりまさ）

【所在地】山口県柳井市余田 1345-1

【資本金】2,000万円

【事業内容】配管ユニット・配管部品の設計、製作等

【従業員】67名

【問合せ先】営業部 [担当者名] 笹木 孝典

Tel : 0820-23-3817